

2019年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年4月10日

上場会社名 株式会社ティムコ
 コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 2019年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第1四半期の業績(2018年12月1日～2019年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第1四半期	684	2.1	5		3		14	
2018年11月期第1四半期	698	14.1	2		5		4	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第1四半期	5.81	
2018年11月期第1四半期	1.97	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年11月期第1四半期	5,748	4,772	83.0	1,927.26
2018年11月期	5,890	4,819	81.8	1,945.88

(参考)自己資本 2019年11月期第1四半期 4,772百万円 2018年11月期 4,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期		0.00		12.00	12.00
2019年11月期					
2019年11月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年11月期の業績予想(2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,117	4.0	50	15.2	53	5.0	35	12.3	14.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年11月期1Q	3,339,995 株	2018年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	2019年11月期1Q	863,445 株	2018年11月期	863,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年11月期1Q	2,476,550 株	2018年11月期1Q	2,476,551 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、[添付資料]P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法変更)

「2019年11月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自2018年12月1日 至2019年2月28日)における日本経済は、中国経済やIT関連産業の減速による影響の広がりや、人手不足とそれに伴う人件費高騰などが企業の景況感の下押し要因となりました。個人消費は、堅調な雇用環境を受けたサービスが消費の押し上げ要因となる一方で、衣料品等足踏み状態となるケースもあり、力強さを欠く分野も見られました。

当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場ともに、暖冬傾向の影響等により景況が左右される展開となりました。

このような状況の中、当社では販売体制及び収益基盤の強化に取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期の売上高は6億84百万円(前年同期比2.1%減)となりました。また、営業損失は5百万円(前年同期間 営業利益2百万円)、経常損失は3百万円(前年同期間 経常利益5百万円)、四半期純損失は14百万円(前年同期間 四半期純損失4百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、高額品を中心とした消費が低迷する一方で、暖冬傾向が釣行にプラスに作用し販売を底支えする展開となりました。

まず、ルアー用品に関しては、ルアー(擬似餌)の販売は堅調に推移したものの、ロッド(釣竿)等の高単価商品の販売が進まず売上高は低迷いたしました。一方、フライ用品に関しては、シーズンに先行して早期実施した新製品投入や動画配信等のプロモーション効果により、売上高は堅調な立ち上がりを示し、ルアー用品のマイナスを補うかたちとなりました。

その結果、当期におけるフィッシング事業の売上高は、前期より微増の1億66百万円(前年同期比0.4%増)となりました。また、売上総利益の増加により、セグメント利益(営業利益)は0.8百万円(前年同期間 営業損失3百万円)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、前期の記録的な気温低下に比べて、当期は暖冬傾向となった反動も加わり、ジャケット等の防寒重衣料の販売が前期に比べ低調に推移いたしました。

その結果、当期におけるアウトドア事業の売上高は、5億9百万円(前年同期比2.9%減)となりました。また、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、セグメント利益(営業利益)は48百万円(前年同期比20.4%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当期に関しては、その他売上高は8百万円(前年同期比1.6%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億42百万円減少し57億48百万円となりました。

流動資産は、季節的な影響による商品及び製品の増加1億13百万円などの一方で、現金及び預金の減少1億25百万円や受取手形及び売掛金の減少1億15百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億29百万円減少し、40億81百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産や無形固定資産の減価償却などによる減少4百万円や投資有価証券の減少3百万円、長期繰延税金資産の減少5百万円などにより、前事業年度末に比べ12百万円減少し、16億66百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ96百万円減少し9億75百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の減少39百万円や未払消費税等の減少14百万円、未払費用の減少21百万円、未払法人税等の減少16百万円、返品調整引当金の減少19百万円などの一方で、前受金の増加9百万円や賞与引当金の増加8百万円などにより、前事業年度末に比べ99百万円減少し、7億41百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加2百万円などにより、前事業年度末に比べ3百万円増加し2億33百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ46百万円減少し、47億72百万円となりました。これは主に、四半期純損失14百万円の発生や前事業年度決算の配当支出29百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年1月18日発表の「平成30年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,219,411	2,093,447
受取手形及び売掛金	556,029	440,588
商品	1,394,642	1,507,753
その他	43,307	41,965
貸倒引当金	△2,148	△2,050
流動資産合計	4,211,241	4,081,704
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	560,371	557,802
土地	653,376	653,376
その他(純額)	16,227	17,381
有形固定資産合計	1,229,975	1,228,561
無形固定資産	21,540	18,757
投資その他の資産	427,851	419,050
固定資産合計	1,679,367	1,666,369
資産合計	5,890,609	5,748,074
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	645,461	606,228
未払法人税等	27,610	11,142
返品調整引当金	32,533	12,761
賞与引当金	1,655	10,591
その他	134,322	101,040
流動負債合計	841,583	741,764
固定負債		
退職給付引当金	144,963	147,622
その他	84,986	85,732
固定負債合計	229,949	233,354
負債合計	1,071,533	975,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	341,087	296,991
自己株式	△478,034	△478,034
株主資本合計	4,804,500	4,760,403
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,575	12,551
評価・換算差額等合計	14,575	12,551
純資産合計	4,819,075	4,772,955
負債純資産合計	5,890,609	5,748,074

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年12月1日 至2018年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)
売上高	698,843	684,370
売上原価	389,190	376,916
売上総利益	309,653	307,454
返品調整引当金戻入額	27,576	32,533
返品調整引当金繰入額	10,690	12,761
差引売上総利益	326,539	327,226
販売費及び一般管理費	323,605	332,319
営業利益又は営業損失(△)	2,933	△5,092
営業外収益		
受取利息	338	406
受取配当金	559	637
為替差益	1,184	-
その他	266	194
営業外収益合計	2,349	1,238
営業外費用		
為替差損	-	130
その他	47	5
営業外費用合計	47	135
経常利益又は経常損失(△)	5,235	△3,990
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	5,235	△3,990
法人税、住民税及び事業税	3,546	3,923
法人税等調整額	6,557	6,464
法人税等合計	10,103	10,387
四半期純損失(△)	△4,868	△14,377

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	166,011	524,775	690,786	8,056	—	698,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	166,011	524,775	690,786	8,056	—	698,843
セグメント利益又は損失(△)	△3,006	61,485	58,479	6,910	△62,456	2,933

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△62,456千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	166,675	509,511	676,187	8,182	—	684,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	166,675	509,511	676,187	8,182	—	684,370
セグメント利益又は損失(△)	825	48,946	49,771	6,981	△61,846	△5,092

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,846千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。